

島根大学  
広報誌  
2010.11

広報しまだい  
**Shimadai**



Vol.7



特集

学長スペシャル対談

歌手 **浜田真理子さん**

新連載

地域医療と先進医療が調和する大学病院の更なる進化へ

**島根大学医学部附属病院再開発**

【連載】 島根大学の研究・地域貢献事業紹介 / 島根大学最新ニュースTOPICS

# TOPICS



## 1 新病棟小児センターに「ミッフィー」のデザイン採用

医学部附属病院では、来年6月に開院予定の新病棟6階「小児センター」の内装デザインに、人気キャラクター「ミッフィー」を採用しました。今年9月には、オランダ在住の絵本作家ディック・ブルーナ氏の著作権管理会社ディック・ブルーナ・ジャパンと、内装デザインを担当する療養環境コンサルタント会社スタンダードマークとの調印式を行い、より良い院内環境の実現を目的とした合意書を交わしました。小児センターにディック・ブルーナ氏の手掛けたキャラクターが施されるのは、世界的にも画期的な試みです。



02

10月9日(土)に開催された「第4回ホームカミングデー」にて行われた歌手・浜田真理子さん(島根大学教育学部卒業)の講演模様。



## 2 高度医療人養成プログラム 4 大学合同F/Dを開催

今年9月、島根大学、神戸大学、鳥取大学、兵庫医科大学の4大学による「山陰と阪神を結ぶ医療人養成プログラム」合同F/Dが、主幹校である島根大学の担当で開催されました。神戸大学病院杉村和朗病院長の挨拶に続き、本事業の立案者、元文部科学省高等教育局医学教育課課長三浦公嗣氏による講演では、本事業の趣旨・目的や今後の期待などの説明がありました。パネルディスカッションでは、各大学の取り組みや今後の課題、さらに、この事業に参加した若手医師からの報告など、活発な意見交換がなされました。



トピックス	02
学長スペシャル対談 歌手 浜田真理子さん	06
<b>新連載</b> 地域医療と先進医療が調和する 大学病院の更なる進化へ 島根大学医学部附属病院再開発	08
研究・事業紹介	12
サークル紹介	20
島根スサノオマジック紹介	22
島根大学支援基金寄附者一覧・プレゼント	23



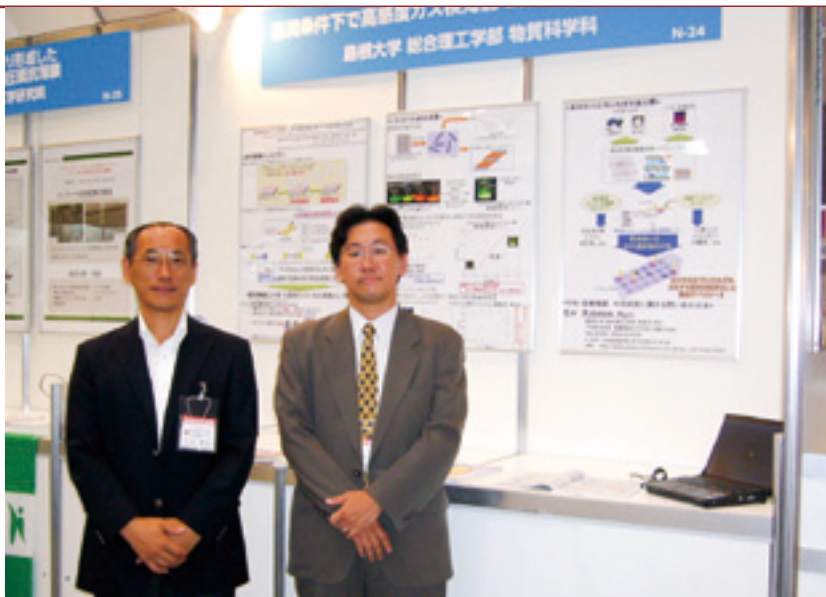
### 3 イノベーション・ジャパン 大学見本市に出展

今年9月29日から10月1日にかけて、大学と産業界が持つ「技術シーズ」とニーズ(技術の種と需要)の発見と出会いを目的とした国内最大級のマッチングイベント「イノベーション・ジャパン2010・大学見本市」が東京国際フォーラム(東京・有楽町)で開催されました。このイベントは今年で7回目を迎えます。出展分

野は、「アグリ・バイオ」「新エネルギー・省エネルギー」「ものづくり」「IT」「環境」「ナノテクノロジー」「医療・健康」「材料」の計8分野で、350を超える大学研究最先端の技術シーズが展示説明され、各大学の研究シーズや産学連携への取り組みの一端などを間近で感じられる内容となりました。本学からは、

総合理工学部物質科学科

の笹井亮准教授が「湿度条件下で高感度ガス検知能を有する固体発光材料」について紹介し、企業を中心に、来場した関係者へPRしました。ほか、本学からは、産学連携センター大庭卓也センター長、阿久戸敬治教授、北村寿宏教授、中村守彦教授、丹生晃隆講師、小金民造客員教授が参加しました。会場には、ベンチャーゾーンや研究機関ゾーン、NEDO支援ゾーンなども設置され、多面的な産学マッチングが推進されました。



### 4 島根県内の高校の生徒が 島根大学を訪問・見学



今年10月、横田高校、大東高校、隠岐高校、矢上高校の生徒が松江及び出雲キャンパスを、出雲西高校の生徒が松江キャンパスを見学しました。これは地元大学の実態に触れることで大学への理解を深め、卒業後の進路を考えるきっかけを与え、学習意欲を喚起する目的で実施されています。見学では、学部教員から学部や授業内容の説明、入試センターの教員からは大学で学ぶことについて説明がありました。実際の授業見学で、特に医学部進学希望者は普段触れることのない医療器具を間近に見るなど、有意義な時間を過ごしました。

### 5 生物資源科学部と浜田市が 包括的連携に関する協定締結



今年10月、浜田市役所において生物資源科学部と浜田市との包括的連携に関する協定の締結を行いました。式では、宇津徹男浜田市長から「地域資源を活用した商品開発やブランド化、人材育成等の取り組みについて、生物資源科学部の力を借りて積極的に進めていきたい」と挨拶があり、谷口憲治学部長からは、「この協定をスタートラインに浜田市との交流・連携をより一層深めていきたい」と挨拶がありました。今後、学部は浜田市へノウハウの一部を提供、浜田市は学部への支援を行うことで連携を推進します。

## 6 附属中学校生徒がバス停のベンチを製作・寄贈



今年10月、本学教育学部附属中学校3年生がバス停のベンチを製作し、川津バス停に設置しました。これは「総合的な学習の時間」の一環として行なわれたものです。学習のねらいは、「地域社会で他と共に生きる喜びと意味を考え、社会における課題を発見し、主体的に解決していこうとする生徒の育成」にあります。活動は生徒自らが考え、計画、実施しており、これまでも、ペットボトルのキャップ集めや地域での落書き消し、防犯を呼び掛ける看板設置、松江市の観光パンフレットの製作・配布などを行っています。

## 7 知的に障がいのある人のオープンカレッジ開講



今年10月、「知的に障がいのある人のオープンカレッジ in 松江」の2期目が開講しました。このオープンカレッジは、島根大学法文学部福祉社会コースの学生と地域の福祉関係者で構成された実行委員会が企画・実施しています。対象となる受講生は、島根県内外から応募のあった知的に障がいのある人で、2012年3月までに4回、計8日間、島根大学松江キャンパスで開講します。1期目は2008年10月に開講し、2010年3月に1期生24名が卒業しました。2期目は、10月30日に入学式を行い、新たに25名の受講生を迎えました。

## 8 本学学生も作品出展 小泉八雲に捧げる造形美術展を開催

今年10月10日から11月14日にわたって、「小泉八雲記念館」、「松江城天守閣」、「カラコロ工房」において、小泉八雲に捧げる造形美術展「オーブン・マインド・ラフカディオ・ハーゲン展」が開催されました。この展覧会は、アートで小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）を表現する試みで、昨年、ギリシャで開催された同名の展覧会を引き継ぐものです。会場には日本や世界のアーティストによる作品が展示されました。本学からも、法文学部言語文化学科の授業で制作した、八雲とその妻・セツが寄り添う

様子を表現した「ハーソンの机」や、怪談話から着想した写真などが出展されました。小泉八雲は、異文化や人種などに偏見を持たず、開かれた心で客観的に世界を見詰めたギリシャ出身の文学者です。幼年時代をアイルランドで過ごした後、世界各国を旅して1890年に日本へ訪れました。わが国を安住の地とした八雲は、特に松江を愛したといわれ、松江を舞台にした作品も数多く残っています。今年には八雲生誕から160年、来日して120年を迎えます。この節目に開催された造形美術展は、アーティストたちが小泉八雲という一人の文学者に敬意を表し、その開かれた精神性「オーブン・マインド」をそれぞれの作品で表現した斬新な試みでした。



様子を表現した「ハーソンの机」や、怪談話から着想した写真などが出展されました。小泉八雲は、異文化や人種などに偏見を持たず、開かれた心で客観的に世界を見詰めたギリシャ出身の文学者です。幼年時代をアイルランドで過ごした後、世界各国を旅して1890年に日本へ訪れました。わが国を安住の地とした八雲は、特に松江を愛したといわれ、松江を舞台にした作品も数多く残っています。今年には八雲生誕から160年、来日して120年を迎えます。この節目に開催された造形美術展は、アーティストたちが小泉八雲という一人の文学者に敬意を表し、その開かれた精神性「オーブン・マインド」をそれぞれの作品で表現した斬新な試みでした。



# 9 全国大会に相次ぎ出場！ オリジナル曲で意気の揚がる附属中学校コーラス部

教育学部附属中学校コーラス部が、10月におこなわれた第77回NHK全国学校音楽コンクール全国コンクールにおいて銅賞(全国三位)を受賞、さらに、第63回全日本合唱コンクール全国大会(全日本合唱連盟主催)においては金賞を受賞という快挙を成

し遂げました。銅賞を受賞したNHKの全国コンクールに駒を進めたのは、昭和62年以来、23年ぶりのことです。しかし、昭和55年から8年連続で全国コンクール出場という実績があり、なかでも昭和56年には最優秀賞という、輝かしい伝統を誇る部でもあります。

活動しています。「部員たちには、こうした伝統を重んじつつ、コンクールで賞を取ることもよしも、聴いてくれる人の心に伝わるような歌を目指していこうと指導しています」と顧問を務める小村聡教諭は話します。

部員たちの目指すのは「言葉の伝わる歌」。小村教諭の指導のもと、自主性の高い部活動をおこなっているのもコーラス部の特徴です。

こうしたコーラス部の伝統は、「感謝・感動・謙虚」という3つのモットーを大切に受け継いでおり、現在のコーラス部員(女子37名、男子17名)もそれを基本に

「本年度は全国大会進出という大きな目標がありました。11月3日に「附中コンサート」と

すが、それでも今年度は特別。今年度のコンクールで歌われる自由曲に、作曲家の松下耕さんによりコーラス部のためだけに作られたオリジナル曲(「自分の感受性くらい 混声4部合唱とピアノのために」)を歌っているからです。

「オリジナル曲ということ、部員たちの入れ込みようも相当なもの。イメージもどんどん膨らみ、歌うたび、歌も部員も成長していく感じですよ(小村教諭)。

全国大会出場の有無に関わらず、活動に熱のこもるコーラス部で

活動してきます。部員たちには、こうした伝統を重んじつつ、コンクールで賞を取ることもよしも、聴いてくれる人の心に伝わるような歌を目指していこうと指導しています」と顧問を務める小村聡教諭は話します。



合唱室でのコーラス部の練習の様子。取材当日は、全日本合唱コンクール全国大会の大会直前で熱のこもった練習が行われていました。室内にはコーラス部のモットーのほか練習時の心がけが書かれています。



学全の全  
校音楽コンクール終了後の賞  
状と楯とともに。銅賞の賞状と楯とともに。



# スペシャル 対談 Special Talk

歌手 浜田真理子さん × 学長 山本廣基

## 島根大学とわたし

第4回ホームカミングデーの特別講演会でトークと演奏を披露してくださった歌手・浜田真理子さん。本コーナーでは、そんな浜田さんを再びゲストに招き、山本廣基学長をホストにスペシャル対談をおこないました。大学生活の思い出、学生の社会進出から地域貢献まで、興味深いお話を聞くことが出来ました。

**山本** このたびはホームカミングデーでの講演ありがとうございます。

**浜田** 実は小学校課程音楽に入ろうと思ったんですが、歌の実技で落ちてしまった。それで結局、幼稚園課程に入ったんですね。そ

こでの教育実習もすごく楽しい思い出なんですが、「教育って難しい！」ってことも同時に思ったんです。あの年頃の子ともたちゃって、先生をすごく信頼していて…。

**山本** 真剣な眼差しで見つめられる感じですか？

**山本** いえいえ(笑)、歌まで披露していただけ、楽しい講演でした。今回はゲストという形で大学に戻ってこられました。が、学生時代で思い出すのはどんなことですか？

**浜田** そうなんです(笑)。授業だけじゃなく、生活習慣とか道徳観とか全部含むわけですし、そんな真剣な子どもたち



やまもと・ひろき  
1947年生まれ、大阪府八尾市出身、島根大学大学院農学研究科修士課程修了。2003年本学生物資源科学部長、2004年国立大学法人島根大学理事(学生支援担当副学長)などを経て、2009年4月より本学学長に就任。専門は農薬環境科学、土壤微生物学。







に比べられる自分だろうか？指導してくださる先生たちと同じ土俵にたてるんだらうか？と自信喪失していったんです(笑)。この話を「教師の道を潔くあきらめた」みたいに紹介されることがあるんですが、正直いって私には荷が重すぎてたんです。

**山本** それは自分の適性を見定めるという意味で教育実習が活かされたのかも知れませんが、それがなかったら、今のアーティスト



はまだ・まりこ  
1964年生まれ、島根県松江市出身、島根大学教育学部卒業。歌手として幅広い活動が続け、2008年には演出家久世光彦のエッセイ「マイ・ラスト・ソング」を題材にした音楽舞台で女優小泉今日子(朗読)と共演し好評を博す。2009年12月に4作目となる新作「うたかた」をリリース。

# 「知る」ためにも多様な経験を

## 浜田 大学時代に自分を

ト浜田真理子は存在しなかったかも(笑)。

**浜田** そうかも知れません(笑)。

**山本** その他、大学で得たものが現在の自分や仕事にどのよう役立っていますか？

**浜田** アルバイトばかりで模範生ではなかったんですけど(笑)。でも、そのアルバイトを通して社会勉強をさせてもらったような気がします。つまり体で社会を覚えていく感じでしょうか。

**山本** 実は平成20年度から、学生の社会活動に対する支援制度が始まったんですよ。ボランティアなどの課外活動などにして、専用カードにポイントを加算していく「ビビットポイント」というん

# 山本 学生が地域で活躍し、貢献できるよう支援をしています

ですが、このポイントはお金に換算して生協で利用できるんですよ。

**浜田** おもしろいですね！

**山本** 他にも海外研修支援とか、いろいろな計画があるのですが、一貫しているのは、多様な人々と多様な価値観で成り立っているのが社会ということを学生たちに実感してもらいたいということなんです。

**浜田** 私もそうでしたが、学生の

うちに社会に出ていくと、自分が幅が出てきますよね。

**山本** そうなってくるといいのですが(笑)。社会の話が出てきたところで、浜田さんは地域に対してどういうお考えをお持ちでしょうか？

**浜田** 年齢的にも社会貢献という思いが強くなってきました。講演などもお請けするようになったのも、そうした思いの表れなんです。ただ、そればかりでなく、自分の勉強もして、いい音楽を作るからこそ貢献にもなると思っています。

**山本** 私たちも、大学として「知」を活かした社会貢献で浜田さんに負けないようにしながら、くちはいけませんね。本日はどうもありがとうございます。

**浜田** ありがとうございます。



〔撮影協力〕  
庭園料理 蓬菜吉日庵

# 地域医療と先進医療が 調和する大学病院の更なる進化へ

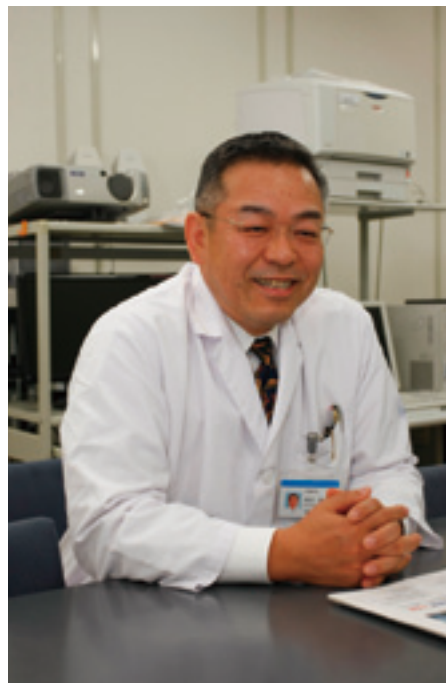
## 島根大学医学部附属病院再開発

現在、島根大学医学部附属病院では新病棟の建設や各種施設の整備など再開発を行っています。このコーナーでは、現在建設中の様子と、それによってどう地域の皆様に役立つのかをお伝えします。今回は病院再開発事業の責任者である医学部附属病院井川幹夫副院長のインタビューと事業の概要について紹介します。

### ハード面で支える 先進医療とアメニティを 両立させた新機能

新病棟の建設が進む島根大学医学部附属病院（以下、大学病院）。この新しい病棟が象徴するように、大学病院では「地域医療と先進医療が調和する大学病院」を理念に、ハードとソフト両面での再開発が進んでいます。

再開発を担当する井川幹夫副院長は、「この大学病院が誕生して30年以上経過していますが、地域に対する大学病院の使命を果すため、小林祥泰病院長の指示の下、病院再開発がスタートしました。再



医学部 教授  
(島根大学医学部附属病院 副院長)

## 井川 幹夫

開発では、こうしたハード面の強化充実を第一に、先の理念を推進していくことになり「」

第一に掲げられる「病院機能の強化」は、①集学的がん治療の推進、②高度医療の確立と普及、③急性期医療の充実の3つを軸に進められています。このなかには、救急部門拡充はもとより、腫瘍センター（病棟）と、緩和ケア病棟の新設などがあります

「①を目的に新設される腫瘍センターの特色としては、抗がん剤治療を徹底するべくクリーンな環境整備。これは一部の病室、廊下、食堂なども含まれる徹底したもので、これ

により強力な抗がん剤治療が可能となり、患者さんの良好な療養環境も実現します。そして緩和ケア病棟では、がん治療の初期段階からケアを開始します。②③については、手術室および救急部の拡充により推進します。」（井川副院長）

腫瘍センターについては、島根県が他県に先駆けておこなった「がん募金」による寄附も費用の一部に含まれていることから、地域の医療機関との連携もこれまで以上に強化されていきます。

「療養（入院）環境もアメニティ面を強化し、大部屋（病室）でも4床と余裕を持たせ、また、近年高まってきた個室のニーズにも応えるため、個室は全病床の約40%に増やしています。」（井川副院長）

この他、ICU増床・HCU病床の新設など、先端医療・急性期医療とアメニティの両面を強化した機能を備えた大学病院に生まれ変わります。



不足していたスペースの  
拡充で改善する教育環境

そして大学病院の機能として必要不可欠な「教育・研究環境の充実」。

「現状、学生の教育スペースが圧倒的に不足しています。学生たちからしてみれば、居場所がない状態なんです。こうした環境の改善が第一になります。具体的には学生専用のカンファレンスルーム、医療用端末をを用意すること。卒後臨床研修センターの充実強化などがあります。シミュレーター(ドレイ)と動物組織(ウェット)を



使った研修のできる内視鏡手術トレーニングセンターや、医療技術の向上を目的としたクリニカルスキルアップセンターなどを教育エリアとしてひとつにまとめ、効率的な教育環境を整備していきます。」(井川副病院長)

地域医療機関との連携強化  
その中心となる  
大学病院の役割

先述のとおり、地域医療の拠点としても期待が高まる大学病院再開発。

「先ほどお話しした緩和ケア病棟の意義など、地域の人々に大学病院の新しい機能

と理念を知っていただくことが先決なので、今後も様々なメディアを通じてPRしていきます。そして※病診連携・病病連携を徹底し、大学病院だけでなく地域の医療機関全体で地域医療を担っている、ということを理解していただく努力をしていきたいと思っています。」(井川副病院長)

再開発によって、大学病院だけでなく、地域の医療環境が、どう改善されていくのか、期待と関心が高まっています。

※地域医療の軸となる病院と地域内の診療機関及び病院がおこなう連携。

平成 21 年 1 月から着手された新病棟の建設工事も 11 月末には外装工事がほぼ完成し、12 月には外部足場を取り外し新病棟の全体像が見えることになりました。地震時の災害を最小限とする免震装置の取り付け、屋上に非常用の発電機、医療ガスのボンベ室を設置するなど災害時に強い建物となっています。

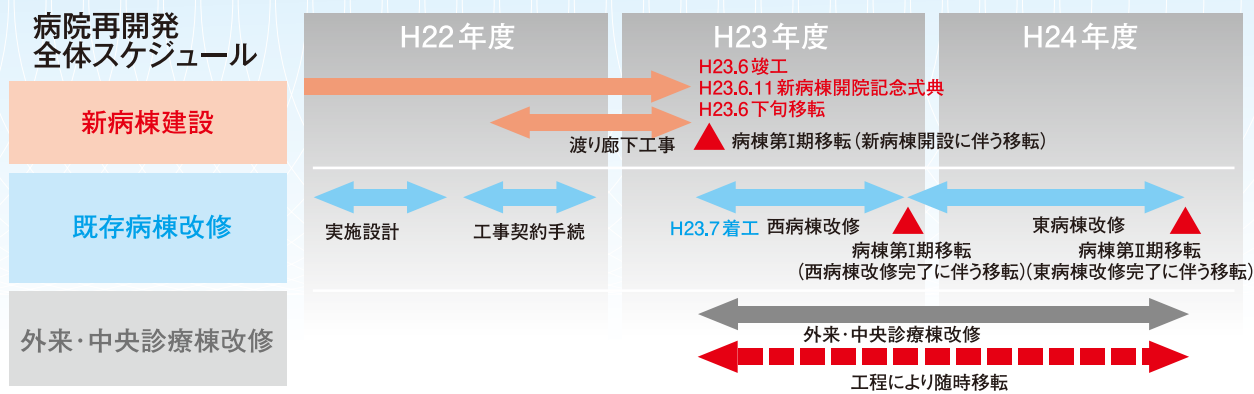
- ◆増築新病棟の概要
  - 建築面積約 2,700 m<sup>2</sup>・延床面積約 17,500 m<sup>2</sup>
  - 鉄筋コンクリート造(免震構造)9 階建て/高さ約 35m
  - ◆既存外来・中央診療棟の全面改修/約 22,000 m<sup>2</sup>
  - ◆既存病棟の全面改修/約 20,000 m<sup>2</sup>
  - ◆病床数/600床(予定)

【島根大学医学部附属病院完成予想図】

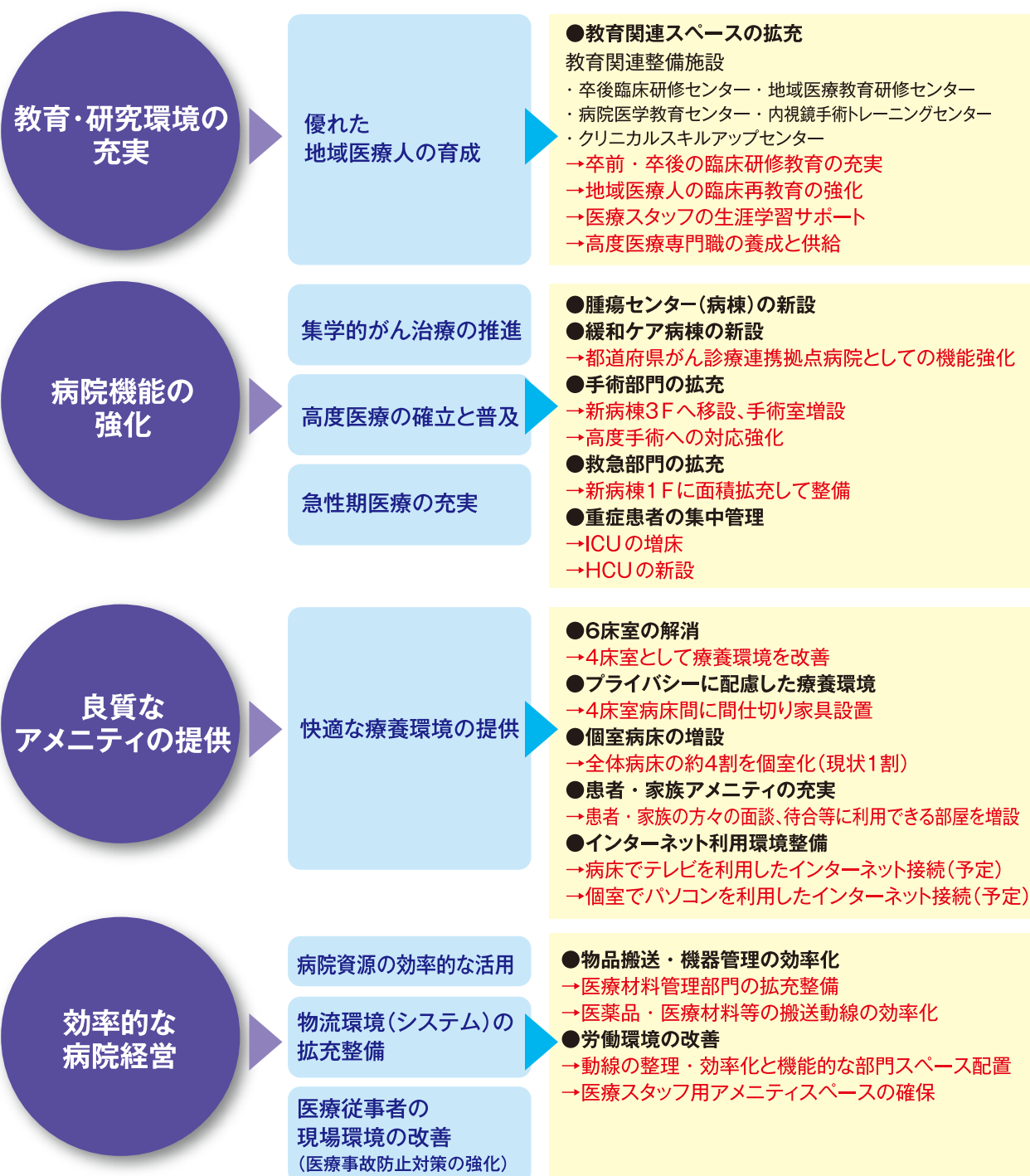
手前が建築中の新病棟、奥が既設病棟。



# 島根大学医学部附属病院再開発事業とは？



島根大学医学部附属病院再開発事業の目標には、大きく分けて4つの目標があり、その目標を達成するための重点的な項目と具体的な施設整備の対応があります。以下がその目標と整備内容になります。





島根大学医学部附属病院は、昭和54年10月に島根医科大学医学部附属病院として開院し、県内で唯一の医育機関として「地域医療と先進医療が調和する大学病院」を理念として運営し、「患者中心の全人的医療の実践」「人間性豊かな思いやりのある医療人の育成」「地域医療人との連携を重視した医療の提供」「地域社会に還元できる研究の推進」を大きな目標とし取り組んできました。

しかし開院以来約30年を経て、ハード・ソフト両面で医療をめぐる環境は大きく変化し、患者さんのニーズに応じた満足度の高い医療、快適な療養環境を十分に提供することに支障を生じています。また、建物や施設の老朽化が進み、特に設備配管の老朽化は更新時期を過ぎ、病院全域にわたり改修が必要になっている状況であることから、病院全体の再開発計画を実施する

次号では具体的な整備内容や工事の進捗状況、新病棟の構造的な特徴など施設やハードとしての特徴をご紹介します。

この病院再開発計画の工事面での大きな柱は、①「新病棟の建設」と②「既存病棟及び、外来・中央診療棟の改修」の二本立てで計画を進めています。再整備完了後は病院全体が装い新たに生まれ変わります。

整備計画期間は5年間で、平成20年度末から「新病棟」の建設に着手し、現在順調に工事が進んでおり、平成23年6月に新病棟が完成する予定です。その後、平成24年度末までに「既存病棟、外来・中央診療棟」の改修を行います。

## 病床配置計画(整備後)

### 新病棟

9F	女性・個室病棟	24床
8F	腫瘍センター	37床
7F	MCU	32床
6F	小児医療センター NICU(6床)	39床
5F	緩和ケア病棟	21床
4F	(設備棟)	
3F	手術部	
2F	ICU(20床) HCU(10床)	30床
1F	救急部・材料部 薬剤部	

### 既存病棟

#### 西病棟

#### 東病棟

8F	一般・共通病棟	36床	精神科 神経科病棟	30床
7F	循環器 フロア	36床	循環器 フロア	36床
6F	消化器 フロア	36床	消化器 フロア	36床
5F	脳血管 フロア	36床	脳血管 フロア	36床
4F	一般・共通 病棟	33床	一般・共通 病棟	36床
3F	産科・婦人科 病棟	32床	整形外科他 病棟	34床
2F	医師当直室等		看護部関連諸室 クニカススキルアップセンター 医療情報部諸室	
1F	剖検諸室 Ai用CT室 SPD、リネン		臨床栄養部 患者給食設備	

### 新しい病床配置の特徴

臓器・疾患別のフロア化により  
治療効果の向上と医療安全対策の推進

- 機能別診療体制への再編
- チーム医療の実践
- 重症患者さんの治療体制強化
- 総合的な臨床教育への対応
- 治療効果及び業務効率の向上
- 患者ニーズ、地域医療への対応

### 外来・中央診療棟

3F	精神科神経科、産科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科、 歯科口腔外科、リハビリテーション部、分娩部、 外来化学療法室、緩和ケアセンター(外来)
2F	内科、皮膚科、小児科、泌尿器科、検査部、血液浄化治療部、 卒後臨床研修センター、地域医療教育研修センター、 内視鏡手術トレーニングセンター、病院医学教育センター
1F	外科、整形外科、脳神経外科、放射線科、放射線治療科、 看護専門外来、放射線部、光学医療診療部、 治験管理センター、医療サービス課

【183床】 + 【209床】 + 【208床】 = 【合計600床】予定

# 研究 事業 紹介

introduction

法文学部

研究・事業紹介

12

## 社会の動きを自らの五感で感じる 自主性を重んじたフィールドワーク

学生たちの研究テーマとしてだけでなく、社会に出ていく力と技術を身につけると評判の法経学科のフィールドワーク。学生たちを指導する法文学部の飯野公央准教授に、取り組みの概要をお聞きしました。

### フィールドワークの契機となった 自動車メーカーの工場見学

経済分野が、学生たちのフィールドワークに積極的に取り組むようになった背景には社会問題に対する学生の関心が年々薄らいでいるという危機感がありました。

「社会システム学科時代に経済に関心のない学生が増えてしまったんです。そこで、どう学生たちを導いていこうかと考え、平成17年に自動車メーカーの工場見学と廃棄自動車が適切に処分されず、大きな環境問題に発展した豊島（てしま）の調査を

「地域経済、財政、医療福祉、環境、流通など多様な観点から一つの地域を切り取り、捉える合同調査は学生の視野を広げ、様々な体験ができる機会となっています」(飯野准教授)。

法文学部 准教授  
飯野公央







本年10月に開催された合同調査の報告会の模様。それぞれの発表に対して活発な議論が行われました。

実施したのが、現在に至るフィールドワークの始まりになりました」(飯野准教授)。



**フィールドワークで  
仕事の現場で体感し推考する**

大学生版・社会見学ともいうべきこの試みは、生産から流通、廃棄といった実際の現場に触れ、局所的に見える現実からトータルに経済を推考する力を要求します。机上では知り得ない現実との接点を常に意識し、「社会の動きを五感で感じる」という主旨があります。

フィールドワークのプロセスは、テーマ別の設定とグループ編成、事前調査、本調査、事後調査、報告書の作成と報告会の開催という流れで行なわれ、課題の発見や原因の探求、そして課題の解決



合同調査や卒業研究報告会の報告書と、卒業研究報告会の模様をおさめたDVD。高校などに配布され、進路を考える上での貴重な参考資料として活用されている。

力を養っています。

**グループ調査から個別テーマへ  
社会へ巣立つ力と技を身につける**

このフィールドワークは、ゼミの初年度(3年生)が先述のスタイルで調査をおこない、4年生は個別テーマに取り組み、卒業研究報告会というゴールを目指します。ここで討論の相手となるのは、別ゼミの3年生た

ち。また、他学科の先生や一般の人々もこの討論会に聴衆として参加。

「別ゼミの学生と他流試合のような刺激を受けながら、大勢の前で自らの意見を限られた時間で述べる。これが難しい。これこそ社会人としてのスキルアップに繋がるのです」(飯野准教授)。

フィールドワークの取り組みが始まって6年、内容のレベルアップはもちろんのこと、最近では地域問題に関心を寄せる学生も増えてきているそうです。

「現実の厳しさが学生たちの意識に反映した結果だと思えます。また、研究報告会を経た卒業論文は、大学進学を目指す高校生にとって、学校案内よりも分かりやすいツールになっているようです」(飯野准教授)。

# 研究 事業 紹介

introduction

教育学部

研究・事業紹介

14

## 人気ミュージカル「あいと地球と競売人」 音楽をキーワードに繋がる地域と大学

島根県民ミュージカルとして、ロングランを続ける「あいと地球と競売人」。平成17年より、この人気ミュージカルを音楽監督として支える、教育学部の河添達也教授に、関わってから現在までのお話しを伺いました。

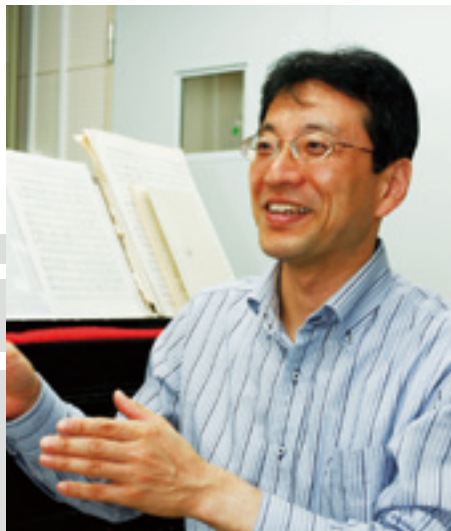
音楽監督に就任したことで  
音楽専科の学生たちも参加

島根県民の手によるオリジナルミュージカル「あいと地球と競売人」。平成6年の初公演以来、多くの人々を魅了してきたこのミュージカルに河添達也教授が関わることになったのは、平成17年の愛知万博での上演が決まったことからはじめます。

「これまで50名前後の吹奏楽団で上演されていたんですが、遠征公演に適した少人数用アレンジの依頼が来たのがきっかけなんです」（河添教授）。

この依頼により、20名用の吹

「ミュージカルでの演奏や楽団の定期演奏会などは、観客の方から直接感想や意見が頂ける貴重な機会なので、普段の授業や練習にとっても刺激にもなります」（河添教授）



教育学部 教授  
河添達也





学校での「オーケストラふれあい音楽鑑賞教室」の様子。演奏はもとより、生徒・児童による指揮者の体験など、音楽への興味を高める地域貢献事業として評価されている。

奏楽アレンジを手がけた河添教授は、そのまま音楽監督として関わられるようになりました。



演奏も市民楽団から島根大学の音楽専科の学生を中心に再編成。県内からオーデイションで選ばれた演者や、歌唱指導の先生など地域のスタッフと一緒に作り上げることで、大学の地域貢献も実現しました。

### ミュージカル参加が 学生の大きな刺激に

「あいと地球と競売人」参加は、学生たちにも大きな刺激を与えたようで、「20名という少人数のアンサンブルは力量も問われるうえ、毎年メンバーが変わっていくので、大学では得られない修行(勉強)の場になります。少人数であること、また、歌との共演である



ことなど、アンサンブルの多様性を追求することができます。さらに、教育実習のように限定された場所ではなく、社会に出て頑張っている子どもたちと出会うことも、教育者を志す学生たちにとっていい刺激になっていきますね(河添教授)。

演じる子どもたちとのふれあいも、教育学部の学生である彼らにとっても、このミュージカルは貴重な学習の場となっているようです。



幼稚園での公演の様。楽器紹介や楽器の音を聞いてどの楽器か答えるクイズを行うなど、学生のアイデアも取り入れた活動を行っている。

### 音楽で広がっていく 地域との交流の輪

こうした学外交流は、地域の学校施設へ出向いておこなう「オーケストラふれあい音楽鑑賞教室」にも生かされています。

「年一回、体験学習の一環としておこなっていますが、演奏を聴いてもらうだけでなく、音楽にまつわるお楽しみコーナー等を企画し、好評をいただいています」(河添教授)。

自分たちの専門(音楽)が地域貢献に繋がっていくということに、学生たちも大きな意義を感じているようです。

# 研究 事業 紹介

introduction

総合理工学部

研究・事業紹介

16

## 中海の水質改善に多大な成果をもたらした 「気液溶解装置」による実証研究プロジェクト

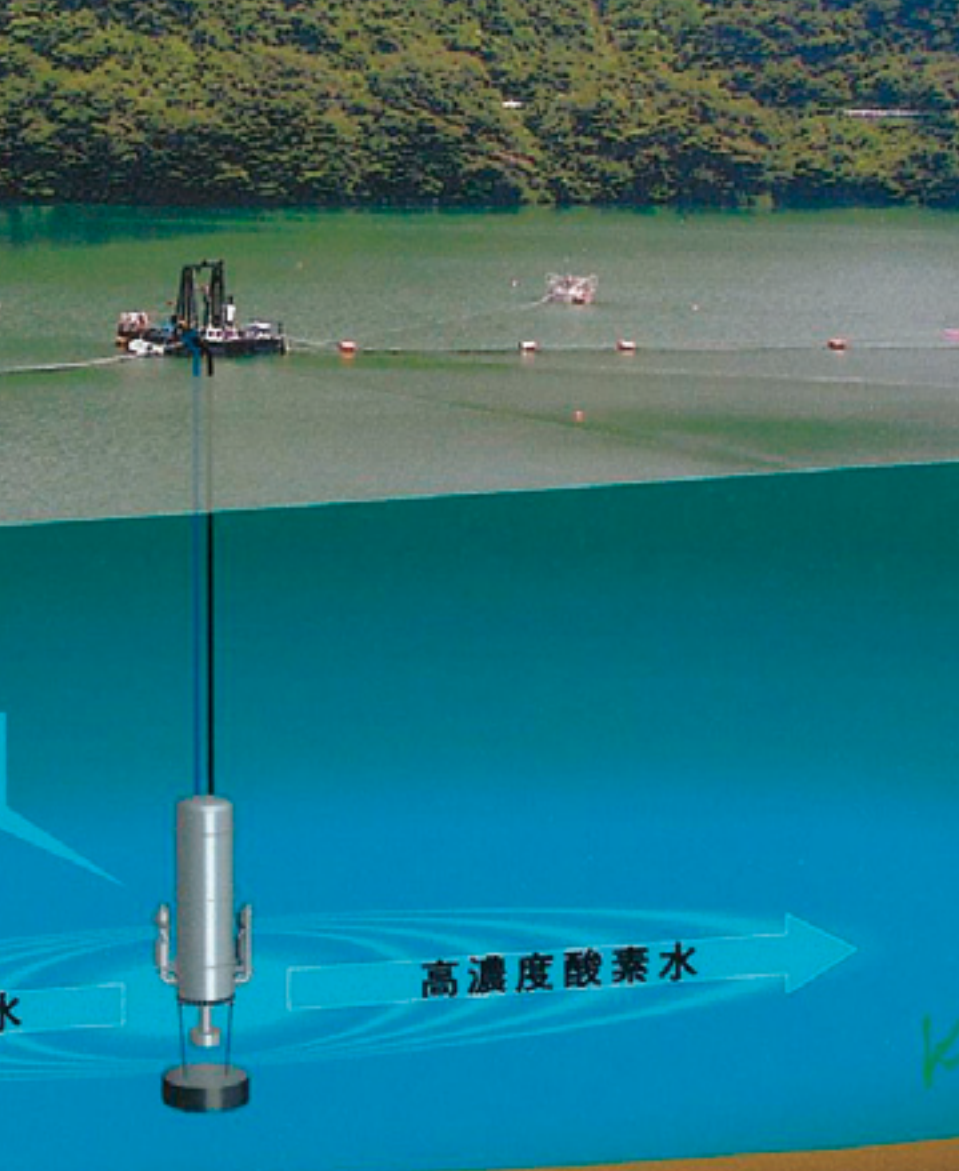
中海の水底には硫化水素や赤潮発生の原因になる汚濁物質が大量に集積。水底の無酸素化が引き起こすこの現象を解決しようと、総合理工学部の清家泰准教授をリーダーとするプロジェクトが水質改善に取り組んでいます。

中海水質改善を目的とした  
中海科研プロジェクト発足

河川などと異なり、中海や宍道湖などの湖沼は、流れ込んでくる汚濁物などが溜まりやすい性質を持っています。こうした性質に加えて、米子湾から彦名沖にかけての浚渫<sup>しゅんせつくぼち</sup>地では、水底に酸素が供給されない状態（無酸素状態）となり、湖底の堆積物から硫化水素やメタンなどの有害物質が発生し、貝類などの底生生物などが棲息できない環境になります。また、湖底から窒素やリンが供給されるため、赤潮の要因としても問題となっています。

「今後このような取り組みを継続して行くためには、環境を保全していくためには必要なコストも含め、地域住民の方々の理解と協力が欠かせないと思います」(清家准教授)。

総合理工学部准教授  
清家 泰







2009年の水質調査における一コマ。平成19年より進められたこの実証研究は、学生の協力もあり大きな成果をあげた。

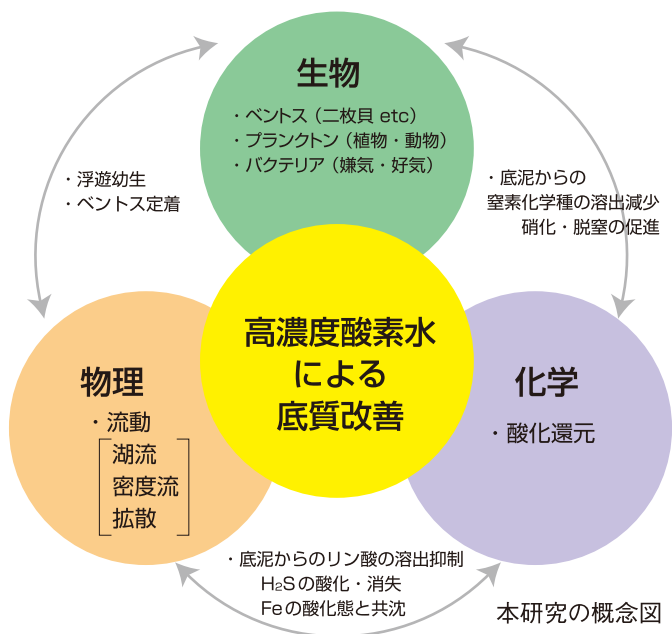
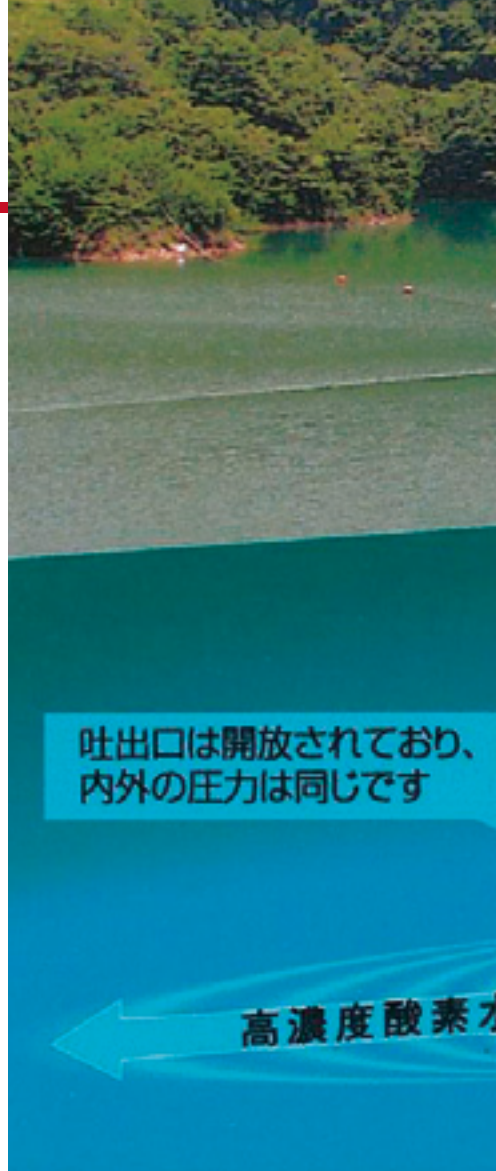
こうした環境悪化を改善すべく、文部科学省から助成金(平成19〜21年)を受けて立ち上げたの

が、「中海科研プロジェクト研究」による浚渫窪地の酸欠状態を解消する活動です。

**生態系に悪影響を及ぼさない「気液溶解装置」の優れた性能**

このプロジェクトに用いたのは、松江土建株式会社(独)土木研究所で共同開発された「気液溶解装置」。

「この装置は、水圧を利用して高濃度の酸素を溶解させます。装置から排出される酸素水は、水平方向に同心円状に広がり、無酸素化が進行している層だけに酸素を供給することを可能にします。気泡が生じないため、上層部の生態系や水質に悪影響を及ぼさな



本研究の概念図

いという点が画期的でした」。(清家准教授)  
本来はダム湖等の環境改善を目的で開発された装置でしたが、清家准教授はこの性能なら中海の水質改善に利用できる」と考えたのです。

**大きな成果をもたらした  
続く波及効果について検討**

実施場所も、水質悪化が深刻

だった米子湾から彦名沖に設定。初年度(平成19年)は準備期間もあって夏場だけの実施となり、思い通りの成果は得られませんでした。春から秋と十分な期間を使った平成20〜21年は、硫化水素も検出されず、底生生物の棲息も確認されるなど、はっきりした成果が得られました。

「この研究は、不足している酸素の補給のみで、自然の自浄作用に任せて水質改善を図ることが目的にあります。生態系への悪影響もないことから、正常な生態系へ戻ろうとする力を与えます」。(清家准教授)

これがプロジェクト最大の狙いであり、今後は実証データを元に多様な波及効果について検討を進めていくとのこと。

# 研究 事業 紹介

# 4

introduction

生物資源科学部

研究・事業紹介

18

## 複雑作業を画像処理技術で可能にする 自律型除草ロボットの開発

きめの細かい作業が必要となる園芸作物の除草から、中山間地や河川敷といった厳しい環境に適した

自律型作業ロボットの開発に取り組む、生物資源科学部・土肥誠准教授に各ロボットの特徴や開発のきっかけをお聞きしました。

無農薬農業に寄与する  
葉菜類株間除草ロボット

食の安全や環境保全の観点から、除草剤に頼らない除草作業の確立を目指し、土肥准教授がまず着手したのが「葉菜類用株間除草ロボット」。

機械に任せられる単純作業の多い稲作に比べ、いまだ手作業が大部分をしめる果物や野菜などの園芸作物は、高度な作業が求められるため、機械化が難しい分野です。こうした問題への取り組みとして、ミニトマトなどの収穫ロボットを試作するなか、開発に至ったのが葉菜類用

「これらの技術が実用化されていくと、農業のイメージが刷新され後継者不足や耕作放棄地対策に寄与できるほか、河川や道路など社会資本の維持管理の軽減などにもつながると思います」(土肥准教授)。



生物資源科学部 准教授  
土肥 誠





美しい田園風景に広がる畦。畦畔は土壌流出の防止や止水機能を持つが、この草刈を怠ると畦畔の崩壊や病害虫の発生原因にも。畦の除草は、農地の持つ機能を確保する上で重要。



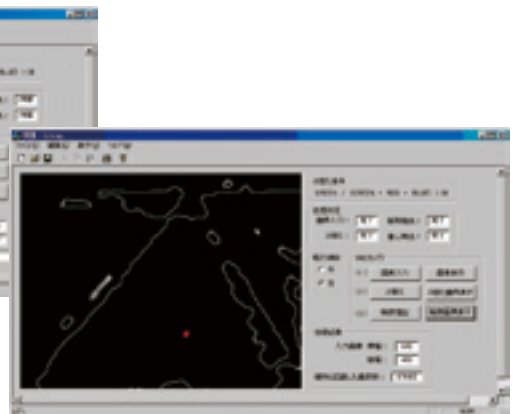
株間除草ロボットでした。  
「キャベツやレタス等、葉菜類の除草作業は機械化が難しく

開発が遅れていましたが、ミニトマト収穫ロボット等で使用していた画像処理技術の改良版で雑草を検出、ロボットアームで除草することに成功し、手作業に近い成果をあげることが出来ました」（土肥准教授）。

### 農家からの要望で開発した 畦草刈り用ロボット

葉菜類用株間除草ロボットが成果を上げるなか、次に着手した「畦草刈りロボット」は、株間除草ロボットを開発する過程で届いた農家からの要望を反映させたものです。

「圃場整備に欠かせない除草作業ですが、農業従事者の高齢化な



上は、開発した画像処理システムに入力された畦画像。右は畦の輪郭と進行方向の検出結果。これらの情報を元に草刈ロボットが作業を行います。

どから作業の危険度も高まります。こうした問題を解決すべく開発したのが畦草刈りロボットです」（土肥准教授）。

畦草刈りロボットは中山間地で使用されることを前提に開発。圃場の高低差や法面のある中山間地での複雑な作業を可能にするため、自律走行の制御には画像

処理による進行方向を検出。転倒など事故防止の緊急停止も制御系に取り入れ、安全性も高められています。

### 実用化の進む農業ロボット 低コスト化を視野に

また、中山間地だけでなく河川敷などの法面での除草（草刈り）作業では、刈り取った草を集める「法面集草・梱包ロボット」も開発され、本年度は斐伊川河川敷で実験が行われました。1〜2年内の実用化が期待されています。

「工業用に比べ、季節で作業の変わる農業用ロボットはコスト高になりますが、ソフトと作業用アタッチメントの交換で一台で何役もこなせるロボットにすることで、低コスト化できるように開発を進めています」（土肥准教授）。

土肥准教授率いる開発チームが手塩にかけた農業用ロボットたちの活躍に今後も目が離せません。



しま  
隠岐の  
助っ人

隠岐のよろず仕事を引き受ける  
頼もしい助っ人集団！

「隠岐(しま)の助っ人」の活動を紹介します。名前が示すとおり、隠岐で様々なボランティア活動をおこなうサークルです。「隠岐のマップクイムシ被害をくい止めるため、生物資源科学部がサポートしたこと」がきっかけで平成15年に発足したサークルです。一次産業のサポートという主旨はありますが、イベントのお手伝い等、自分たちの出来ることなら何でも引き受けています」(高瀬末季子隊長・3年生)。



活動の中心となる農作業は、種無しブドウ栽培や田植え前の下仕事、桜並木の草刈りなどで、農家から直接依頼が来るそうです。宿泊などを伴う長期作業もあり、活動期間は夏期休暇が多く、海水浴シーズンの海岸清掃などでも大活躍！

隊員がすべて県外出身者というのもサークルの特徴。各隊員は、「島根らしさにふれたかった」「自己投資のため経験を積みに」「地方分権に興味があるので、将来のために」等々、それぞれのテーマを内包しつつ活動に励んでいます。

「年々依頼が減ってきているのが目下の悩み。今までの受け身体質を改善して、どんどん新規開拓をしていこうと計画を練っているところですよ！」(高瀬隊長)。

助っ人たちの新しい展開に期待しています。

それぞれの想いや目的を胸に隠岐での地域活動に携わる隊員達は、それぞれ貴重な体験や経験をしているようです。



男子バレー  
ボール部

勢いに乗った攻撃型バレーが信条  
経験者揃いの強豪チーム



チームワーク抜群のバレーボール部。練習中にもお互いに声を掛け合い、プレーの質を高めていく選手達でした。

るリーグ戦の1部常連という強豪で、本年度も春季リーグで、1部3位という好成績をおさめています。

1部常連という強さを支えているのは、全員が中学校・高校からのバレーボール経験者であることが大きいようです。そんな競技に精通した男子バレーボール部の練習は週5回。部員たちの自主性を尊重しながらも、マネージャーの管理するタイムスケジュールに則り、精力的にこなしていきます。

チームの中でも長身のエース岡田洋平選手(2年生)を中心に戦うスタイルは、「波はありますが、乗ると怖い攻撃型のチームです」(長谷川キャプテン)。

これからの目標を「春季・秋季ともども、1部3位を最低ラインの目標に、さらに上位入賞を狙っていきます！」(長谷川キャプテン)。

これからの活躍がさらに楽しみになってきました。

「元気に明るく、観ている人たちが楽しくなるようなプレイを心がけてます！」と長谷川護キャプテン(3年生)が語るように、大学生らしいハツラツとした姿が印象的な「島根大学男子バレーボール部」を紹介します。

選手たちの主な活躍の舞台は、中国5県、約20余校の大学が参戦する春季・秋季リーグ。とりわけ島大男子バレーボール部は、1部、2部、チャレンジ(の部)で構成され





## 医学部 陸上部

### エクササイズを導入し 間口の広いスポーツクラブを目指す

医学部前身の島根医大創設当時から伝統あるスポーツクラブ「島根大学医学部陸上部」。現在46名の部員たちが医学部グラウンドで汗を流しています。

医学部陸上部の参戦する一番大きな大会となるのが、西日本医科学生総合体育大会(毎年8月初旬開催)。平成22年度は、向田千夏選手が女子円盤投、女子ハンマー投の2種目で1位を獲得。また、女子総合でも2位という好成績をおさめるな

ど、陸上競技経験者の多い女子部が強いのが特徴です。

短距離、長距離とともに、勉強の合間の気分転換や体力づくりを目的とする「エクササイズ」というカテゴリーがあるのも医学部陸上部ならでは。3年生の吉田翼部長もエクササイズから入部し、現在は長距離選手として活躍するなど、ここから本格的な競技に挑戦していく部員もいるようです。「新入生も入りやすい間口の広さがエクササイズの良いところで、導入後、部活動もかなり元気になるました」(吉田部長)。

夏休み期間中の松江キャンパス陸上部との合同練習では、交流も含めて真剣に競技に打ち込んでいる部員の良い刺激になっているようです。また、島大医学部陸上部が主



練習をそれぞれ使って時間帯を出す中、夕方まで練習を続けています。夕日が照らす姿が印象的で、この種目に懸命に打ち込む姿が印象的でした。

催となる、中国地区医学部陸上部の合同練習を来年3月に控え、いつも以上に活気に満ちたクラブ活動に精進しています。



## 医学部 地域医療 研究会

### 地域とふれあい地域を知る 学生の視点で地域医療を考える



学生ならではの視点とネットワークで様々な体験をしているメンバー。今後、医師として活躍する際にも貴重な経験として活かされるものと期待しています。

AED(自動体外式除細動器)が近くになかったり、人がいない等の問題が大きいので、多くの参加者が集まり、真剣に取り組んでくださいます」(尾上正樹部長)。

また、講習会に訪れた地域の人々との縁も深まり、一緒に夕食を作って食べたりの交流にも発展し、「人間関係の密接なところとか、実地勉強の機会の少ない医学生にとっては得がたい体験ができています」(尾上部長)。また、「地域イコール田舎、という事ではなく、地域を自分たちの生活区域と捉えています」(藤井俊吾副部长)と、活動は広い視野でおこなわれているようです。

地域の人々と交流することで、その地域を知り、その地域特有の医療のあり方を考え、学生なりのアプローチをしていく、これが島根大学医学部「地域医療研究会」のテーマです。

フィールドワーク中心ということもあり、活動は夏期休暇が中心。「今夏は同じ医学部の救急蘇生の会と合同で、浜田市金城町、弥栄町でBLS(二次救命処置)講習会をおこないました。中山間地では

今後は、「フィールドワークの範囲を広げ、地域のさまざまな医療施設でも学んでいきたい。また、他大学との連携も深めていきたい」(尾上&藤井)とますます活動が盛んになっていくようです。



# 島根大学は島根スサノオマジックを応援しています!

10月16日(土)、埼玉県所沢市でbjリーグ2010-2011シーズン公式戦「埼玉ブロンコス×島根スサノオマジック」が開催され、本学も応援している島根スサノオマジックの初陣の幕が切って落とされました。今回はこの試合の様々と、今後の開催スケジュールを紹介します。

## 神話第壹章の始まり

序盤は一進一退の攻防で前半を37-37の同点で折り返しましたが、第3クォーター、突如として崩れ、63-51で12点のビハインドを許してしまい、第4クォーター、必死に立て直すも84-72で敗れてしまい、記念すべき開幕戦を白星で飾ることが出来ませんでした。

奇しくも、島根と同じく新規参入をした秋田、宮崎も敗戦してしまい、なかなか新規参入即勝利というのは難しいことだと実感いたしました。ここで終わらないのがジェリコHCのすごさ。

翌日の埼玉ブロンコス戦はこれが昨日と同じチームかと思うほど見違える動きを披露。ジェリコHCの考えを体言した島根スサノオマジック本来の、ハードに守って、賢く攻めるバスケットボールで、試合開始から、埼玉を終始圧倒。どのクォーターも埼玉に取られることもなくの完全勝利で、島根スサノオマジックの歴史的勝利を収めることが出来ました。

試合前日の練習で捻挫をしながらも、戦う姿勢でチー

ムを鼓舞し続けたキャプテン・石崎巧は「今後はもっとスサノオマジック本来の試合を見せていきたい」と力強いコメント。

また石崎選手は11月の6試合を日本代表としてのアジア大会への参加でスサノオマジックを離れてしまいましたが、ジェリコHC曰く「誰が出て最後の最後までファイティングスピリットを持って戦う集団」であるので、これから続くスサノオマジックの戦いにも要注目です。



## 2010-2011シーズン 島根スサノオマジックゲームスケジュール

H…ホームゲーム A…アウェイ

日程	開場	開始	対戦相手	会場
12月4日(土)	16:00	19:00	H 仙台 89ERS	松江市総合体育館 (松江市)
12月5日(日)	10:00	13:00	H 仙台 89ERS	松江市総合体育館 (松江市)
12月11日(土)	17:00	19:00	A 高松 ファイブアローズ	高松市香川総合体育館 (高松市)
12月12日(日)	12:00	14:00	A 高松 ファイブアローズ	高松市香川総合体育館 (高松市)
12月18日(土)	15:00	18:00	A 新潟 アルビレックスBB	リージョンプラザ上越 (上越市)
12月19日(日)	10:00	13:00	A 新潟 アルビレックスBB	リージョンプラザ上越 (上越市)
12月25日(土)	16:00	19:00	H 大阪 エヴェッサ	松江市総合体育館 (松江市)
12月26日(日)	10:00	13:00	H 大阪 エヴェッサ	松江市総合体育館 (松江市)
1月8日(土)	—	18:00	A 東京 アパッチ	代々木第二体育館 (渋谷区)
1月9日(日)	—	14:00	A 東京 アパッチ	代々木第二体育館 (渋谷区)
1月15日(土)	16:00	19:00	H 富山 グラウジーズ	島根県立体育館 (浜田市)
1月16日(日)	10:00	13:00	H 富山 グラウジーズ	島根県立体育館 (浜田市)

日程	開場	開始	対戦相手	会場
1月29日(土)	16:00	19:00	H 浜松・東三河 フェニックス	松江市総合体育館 (松江市)
1月30日(日)	10:00	13:00	H 浜松・東三河 フェニックス	松江市総合体育館 (松江市)
2月5日(土)	—	16:00	A 滋賀 レイクスターズ	守山市民体育館 (守山市)
2月6日(日)	—	14:00	A 滋賀 レイクスターズ	守山市民体育館 (守山市)
2月12日(土)	—	—	H 京都 ハンナリーズ	三刀屋文化体育館 (雲南市)
2月13日(日)	—	—	H 京都 ハンナリーズ	カミアリーナ (出雲市)
2月19日(土)	—	—	H 高松 ファイブアローズ	鹿島総合体育館 (松江市)
2月20日(日)	—	—	H 高松 ファイブアローズ	鹿島総合体育館 (松江市)
2月26日(土)	17:00	19:00	A 大分 ヒートデビルズ	B-Con Plaza (別府市)
2月27日(日)	11:30	13:30	A 大分 ヒートデビルズ	B-Con Plaza (別府市)

※上記スケジュールは2月末開催分の試合まで紹介しています。  
※諸事情により上記スケジュールが変更になる場合がございますので、ご了承ください。

島根スサノオマジック TEL0852-60-1866

<http://www.susanoo-m.com/>

## Network & Security

**MiC** 株式会社 ミック

松江市学園南2-10-14タイムプラザビル1F  
TEL 0852-27-0329 <http://www.mic-ltd.co.jp>  
支店/出雲・浜田 営業所/雲南・大田・益田

**MC Security** 株式会社 MCセキュリティ

松江市北陵町51-2 TEL 0852-31-9001  
<http://www.mcsecurity.co.jp>

パソコン・ネットワークセキュリティのことなど、お気軽にご相談下さい。

荒れた森林を元気にしよう!  
私たちは森林保全の輪を広げる活動を展開しています。



山陰合同銀行



## 島根大学支援基金寄附者一覧 ご協力ありがとうございました。(平成22年9月末現在)

■個人からのご寄附 (五十音順・敬称略)

相川 弘明	大石 泰正	神崎 俊	地土井 襄璽	長尾 憲道	藤井 浩樹	守橋 眞
青木 歳博	大上 香里	菊池 宗平	島田 一嗣	長岡 讓二	藤井 忠夫	森脇 登
青木 雄二	大川 公恵	岸原 健司	清水 義男	永田 まち子	藤江 奏	山内 克実
青柳 正敏	大出 集	岸本 眸	車野 悦郎	中谷 健	藤田 温子	山縣 聡
赤坂 一	大西 克明	北里 房義	須藤 發夫	永濱 哲夫	藤田 英彦	山門 努
足立 徳郎	大場 利信	杵築 朋子	住田 富士夫	中本 生二	藤田 保治	山口 昭光
安達 美和子	大浜 誠一郎	木村 高司	仙田 久仁男	中山 澄子	藤原 伸夫	山口 伸一
安部 登	岡信 章	楠 伸治	曾田 悟	野崎 洋康	藤本 正昭	山田 璋
飯塚 敏夫	岡林 雅子	久保田 康毅	高橋 邦夫	野津 哲朗	古瀬 浩介	山田 政美
石倉 國男	岡本 康昭	倉井 正喜	高橋 興一	萩嶺 淨信	本田 光宝	山田 豊
石野 眞	小川 美栄子	栗村 健雄	竹村 國彦	橋本 英一	本田 雄一	山根 昭己
石橋 剛	奥 昌道	黒田 義則	田中 盟人	長谷川 賢也	前田 曉男	山根 フミエ
泉 和一	尾崎 一弘	黒田 義則	田中 薫	花山 莞	前田 俊朗	山根 フミエ
泉 五郎	小笹 基	桑原文次郎	田中 富士夫	原 恭子	馬越 尚史	山村 真明
伊藤 一成	尾添 晴子	郷原 健	田原 光夫	原田 曠嗣	榊村 純生	山村 勤
伊東 照芳	落合 英夫	古賀比呂志	田原 幸	稗田 信弘	松尾 寿	山本 俊介
井畑 忠之	尾原 美和子	小橋 達也	為石 ちづる	東 彩佳	松本 敏数	行武 禎一
今井 睦子	織奥 信男	小林 治郎	千代 賢治	久恒 良一	三上 哲哉	吉田 三枝子
今岡 とし代	垣内 仁	薦田 万州生	杖田 董子	樋渡 祐次	三成 弘子	吉峯 信也
入江 正昭	金築 修	小割 百合子	常松 幹義	深田 幸嘉	宮井 幸子	若月 利之
岩成 芳延	河合 康一	齋藤 喜美江	壺井 哲朗	深谷 光夫	宮森 隆雄	脇川 良幸
内久保 晋一郎	川口 公男	佐々木 茂	坪倉 司郎	福島 律子	室家 士郎	
浦 正澄	川添 義一	佐藤 昌昭	富田 精一	福見 晴治	目次 慶子	
大麻 綱男	川本 謙一	塩原 潔	外山 堅吉	藤井 佳代子	森岡 成	

※ご寄附をいただいた皆様の中で、「HP等への掲載を希望しない」とされた方は、掲載しておりません。

### 投稿のお願い

「広報しまだい」は、島根大学と地域の方々との相互理解を大きな目的としています。島根大学から地域に情報を発信してほしいこと、地域の方々からの島根大学に関する話題、島根大学に対する要望、その他ご意見、ご質問などをお気軽にお寄せください。ご投稿お待ちしております。

〒690-8504 松江市西川津町 1060  
島根大学総務部総務課 企画・法規・広報グループあて  
FAX：0852-32-6019  
E-mail:jsy-bunsyo@jn.shimane-u.ac.jp  
ホームページ：http://www.shimane-u.ac.jp



### Present

ご意見を頂いた皆様の中から  
抽選で20名様に

島大農場で収穫された茶葉を使った  
オリジナル「煎茶」をプレゼントします。

※当選者のお知らせは発送をもってかえさせていただきます。  
※応募不切/平成23年1月15日必着



### 編集後記

長く暑い夏もいつの間にか終わり、寒さが厳しさを増すこの頃、皆さま如何お過ごしでしょうか。お陰さまで「広報しまだい」は、前号より島根県ほぼ全域の皆さまに回覧・配布させて頂いております。キャンパス所在地の松江、出雲のみならず多数の地区の皆さまから、嬉しいお言葉や厳しいご意見を頂きました。大学内では気付きにくい、外部からの視点はなかなか得難いものです。頂いたご意見等は、今後の広報誌作成及び大学運営に生かしていきます。ありがとうございました。

本学は、地域に根差した大学として、また、躍進する元氣な地方大学として成長していくために、皆さまの忌憚ないご意見をお待ちしております。

ます。

さて、もう少して街がクリスマス一色に染まる12月、そして新年がやってきます。この1年を振り返り、新たな1年に想いを馳せる節目の時期です。前進すること、今あることを保持すること、はもろろん大事、そしてもっと大事なのは不要な部分を捨てる勇気かもしれません。より機動的な大学運営、そして学生及び関係各位の満足度向上のため、この1年を見つめ直す節目としたものです。これからも進化し続ける島根大学にどうぞご期待ください。

次号「広報しまだい第8号」は2月に発行予定です。どうぞお楽しみに。

「広報しまだい」に広告を掲載してみませんか!

### 企業 の みなさまへ

ご希望される場合は、総務部総務課企画・法規・広報グループ  
(電話 0852-32-6603)までお尋ねください。  
みなさまのご応募お待ちしております。



島根大学オリジナル芋焼酎  
**神在の里 好評発売中**

生物資源科学部神西砂丘農場で生産された  
サツマイモ「ベニアズマ」を原材料とした「芋焼酎」

●神在(かみあり)の里(720ml)…1500円(税込)

※島根大学生協でしか販売しておりません。

島根大学生協 島根大学生協同組合  
〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060 電話0852-32-6240  
http://omise.seikyoyu.jp/shimane

もっと身近にメリット!! ●毎週月曜更新!

鳥取・島根のおしごとサーバー  
**Webメリット**

求人情報を  
携帯電話から  
簡単検索!!

http://job.merit-inc.net/m

パソコンからは…クリック!  
求人メリット 検索  
http://job.merit-inc.net

就職説明会  
面接会等の  
情報も満載

株式会社メリット 求人事業部 松江市古志原 5-2-43 TEL.0852-23-1749

あなたの未来が  
ここにある



# 看護師 助産師大募集

皆様のご応募お待ちしております。

職種 看護師 **25名**・助産師 **5名**



平成23年  
病院が新しく  
なります。

私たちは「地域に信頼される質の高い看護」を提供します。

国立大学法人  
島根大学 医学部附属病院

◎看護部ホームページ/<http://www.suh-nurse.jp/>



携帯はコチラから

島根大学看護部

検索